

令和7(2025)年度

「 運営に関する計画 」
(年度当初)



大阪市立木川南小学校

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- ① 登校しにくい児童について、校内で情報を共有するとともに、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーと連携し学校全体で対応することができた。
- ② 年間を通じて、児童の心の状態を表す「心の天気」を入力する習慣が身に付き、教職員が確認する体制を整えることができた。また、学校全体で対応することにより、登校しにくい児童も少しずつ登校する日が増え、改善がみられた。
- ③ いじめについて、令和5年度に引き続きスクールロイヤーによる出前授業を実施した。今後は、小さな芽のうちに対応することができるように、児童自らが主体的に考え問題解決へと適切に判断できる力を身につけられるような取組の検討と推進を行うことが求められる。
- ④ 算数科の研究を積み重ね、スクールアドバイザーだけでなく、算数科を専門とした指導主事からも指導助言を受けたことで、教員の授業力がより向上した。
- ⑤ 「自分の意見をもち表現する力」の向上に重点を置き、学習活動を進めてきた。その結果、大阪市小学校学力経年調査の結果において、総合的に各学年で成績の伸びがみられた。
- ⑥ 働き方改革の一環として、教員が元気に健康で児童と向き合えるように、教育課程の見直しをこれまで以上に推進したことで、時間外労働時間の減少という大きな成果を得ることができた。
- ⑦ 学校再編プロジェクト会議を開催し、学校行事の精選をすることで、教員が児童一人ひとりと関わる時間が増え、学習活動の充実と児童の学力向上に結びつく結果となった。

令和7(2025)年度 木川南小学校の教育 グランド・デザイン

めざす学校像

笑顔あふれる学校

校訓

つよい体 やさしい心

めざす子ども像

仲間と共にのびゆく子

学校教育目標

心豊かでたくましく、自ら考え
行動する子どもを育てる

学校生活の合言葉

いのち一番、にこにこ二番、
すすんで三番 やってみよう！

学力保障

- 感動と共感のある学習
- 基礎・基本の定着
- ◎思考力・判断力・表現力
- ◇クリティカルシンキング
- 読書活動

自尊感情

生活指導・集団育成

- 自律的規範意識
- ◇ルール マナー リテラシー
- 基本的生活習慣
- ◇健康(食事・睡眠・運動)と環境整備
- 仲間づくり
- ◇安心・安全な居場所づくり

人権教育

- 基本的人権の尊重
- ◇安心・自信・自由
- ◇公平・公正・平等
- 「いのち」を考える日
- ◇「生」と「性」の教育、防災教育
- ◇地球環境と世界の平和

子どもの生活背景
体の栄養
心の栄養

研究・研修

- 教職員自らの学び、変わる
- 子ども理解(カウンセリングマインド)

【 行 動 指 針 】

- 焦らず、あわてず、無理をせず、できることを精一杯実行する。
- お互いを信頼し、協働することを楽しむ。
- 「多様性」「寛容さ」を大切にする。

【 留 意 点 】

- (協力体制) ① 垣根を低くし、情報交換を密にする
- ② 問題を一人で抱え込まない
- (信頼関係) ③ 温かい一声、小さなことを大きくほめる
- ④ 体罰・暴言は絶対にしない
- (児童理解) ⑤ 指導の前にまず児童理解(共感的理解・肯定的理解)
- (学習指導) ⑥ 相手の話をしっかりと聴き、自分の思いが伝わるように話す
- ⑦ 教え合い、助け合い、いたわり合い、高め合う
- (環境整備) ⑧ 草木が豊かで、温かい雰囲気があり、明るくすっきりした学校・教室
- (専門性) ⑨ 指導観や子ども観を常に見直し、更新していく
- ⑩ からかいやいじめ、差別を絶対に許さない

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

○安全・安心な教育環境の実現

- ・令和7年度全国学力・学習状況調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」において、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- ・毎年度末の校内調査において、不登校児童の割合を毎年減少させる。

○豊かな心の育成

- ・令和7年度の全国学力・学習状況調査の「自分にはよいところがあると思いますか」において、肯定的に答える児童の割合を令和3年度（65.5%）より増加させる。
- ・令和7年度の全国学力・学習状況調査の「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」において、肯定的に答える児童の割合を90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○誰一人取り残さない学力の向上

- ・令和7年度の小学校学力経年調査・校内調査の「学校の授業などで、自分の考えを文章に書くことは難しいと思いますか」において、肯定的に答える児童の割合を、45%以下にする。
- ・令和7年度の小学校学力経年調査における市の平均正答率の7割に満たない児童の割合を、同一母集団で比較し、いずれの学年も令和3年度より2ポイント減少させる。
（令和3年度 4年：4.8% 5年：9.1% 6年：3.6%）

○健やかな体の育成

- ・令和7年度の全国体力・運動能力・運動習慣等調査の「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」において、肯定的な回答をする児童の割合を75%以上にする。
- ・規則正しい生活を身に付けている児童の割合（全国学力・学習状況調査の「毎日同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日同じくらいの時刻に起きていますか」それぞれに対して、肯定的な回答をする児童の割合）を令和7年度の調査において、70%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

○教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

- ・令和7年度の全国学力・学習状況調査の「5年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度活用しましたか」において、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を、85%以上にする。

○人材の確保・育成としなやかな組織づくり

- ・ゆとりの日について、週1回以上設定する。学校閉庁日については、夏季休業期間中は3日以上、それ以外の休業期間においては2日以上設定する。

○生涯学習の支援

- ・令和7年度の小学校学力経年調査・校内調査の「読書は好きですか」において、肯定的に答える児童の割合を、76.5%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 79%以上にする。(R6:76.6%)
- 年度末の校内調査において、不登校児童の割合を毎年減少させる。(R6:1.90)
 - ・校内調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。(R6:82%)
 - ・校内調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を昨年度より増加させる。(R6:82%)
 - ・令和7年度の全国学力・学習状況調査の「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を 90%以上にする。(R6:91%)

【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。
(4年 R6:1.14 5年 R6:1.02 6年 R6:1.06)
- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を前年度以上にする。(R6:35.1%)
 - ・令和7年度の小学校学力経年調査・校内調査における「学校の授業などで、自分の考えを文章に書くことは難しいと思いますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、45%以下にする。(R6:45.4%)
 - ・令和7年度の全国体力・運動能力・運動習慣等調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を 75%以上にする。(R6:70%)
 - ・校内調査の「毎日どのくらいの時間ねていますか」の項目で、8時間以上と回答する児童の割合を前年度の調査以上にする。(R6:65%)

【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の70%以上にする。ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く。
(R6:89.1%)
- 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を 80%以上にする。(R6:77.8%)
 - ※基準1：1か月の時間外勤務時間が45時間を超えないようにすること
：1年間の時間外勤務時間が360時間を超えないようにすること
- ・令和7年度の小学校学力経年調査・校内調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、76.5%以上にする。(R6:73.9%)

3 本年度の自己評価結果の総括

--

大阪市立木川南小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を79%以上にする。(R6:76.6%)</p> <p>○年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を毎年減少させる。(R6:1.90)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。(R6:82%) ・校内調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える割合を昨年度より増加させる。(R6:82%) ・令和7年度全国学力・学習状況調査の「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を90%以上にする。(R6:91%) 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活指導連絡会（スクリーニング会議Ⅰ）において児童一人一人の状況や課題を全教職員で共有し、いじめの未然防止に学校組織として取り組む。 (いじめへの対応) <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活指導連絡会（スクリーニング会議Ⅰ）を毎月開催し、情報を共有する。 	
<p>取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災・減災・防犯教育を進め、「自分の命は自分で守る」意識を高める。 (防災・減災教育の推進) <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域と連携して防災訓練を実施すると共に、年3回以上の避難訓練と不審者対応訓練を年1回実施する。 	
<p>取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめや不登校が起こりにくい思いやりのある学校づくりをめざし、人権教育および道徳教育の深化・充実を図る。 (人権を尊重する教育の推進) <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年3回「いのちについて考える日」に合わせて、各学年で人権教育・道徳教育の集中実践を行う。 	
<p>取組内容④【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活指導・集団育成の取り組みを通して、他者への感謝の気持ちを持ち、責任ある行動をとることができる自律的な規範意識を醸成する。(道徳教育の推進) <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内調査における「友達のことを考え、仲良く助け合っている」「気持ちのよいあいさつをしている」の項目についての肯定的回答率を80%以上にする。 (R6:85%、76%) 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
改 善 点

大阪市立木川南小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○小学校学力経年調査における算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。 (4年 R6:1.14 5年 R6:1.02 6年 R6:1.06)</p> <p>○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を前年度以上にする。(R6:35.1%)</p> <p>・小学校学力経年調査・校内調査の「学校の授業などで、自分の考えを文章に書くことは難しいと思いますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を前年度の調査以下にする。(R6:45.4%)</p> <p>・令和7年度全国体力・運動能力・運動習慣等調査の「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な回答をする児童の割合を前年度の調査以上にする。(R6:70%)</p> <p>・校内調査の「毎日どのくらいの時間ねていますか」の項目で、8時間以上と回答する児童の割合を前年度の調査以上にする。(R6:65%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
<p>取組内容⑤【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>・思考ツールを活用し、「対話」を通じて考えを深めたり広げたりし、協力してよりよい未来を切り拓いていこうとする意志と態度を育む。 (「主体的・対話的で深い学び」の推進)</p> <p>指標</p> <p>・学力経年調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の肯定的回答率を前年度以上にする。(R6:71.5%)</p>	
<p>取組内容⑥【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>・子どもの基礎学力の定着を育成するために、既習の漢字の定着を図る。 (言語活動の充実)</p> <p>指標</p> <p>・校内調査の「学校の授業で学習したことがわかる」の項目で肯定的回答率を85%以上にする。(R6:88%)</p> <p>・4年生、5年生でチャレンジする漢字能力検定をめざして、各学年で漢字の定着を図るため、くり返し学習に取り組み、ショートテストを定期的実施する。</p>	
<p>取組内容⑦【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>・基本的な感染症予防の知識と習慣を身に付け、免疫力を高めるためにも睡眠（「ヨドネル」）、食事、運動を意識した規則正しい生活が重要であることを理解し、健康づくりに取り組むことができるようにする。 (健康教育・食育の推進)</p> <p>指標</p> <p>・校内調査の「毎日どのくらいの時間ねていますか」の項目で、8時間以上と回答する児童の割合を前年度の調査以上にする。(R6:65%)</p>	

<p>取組内容⑧【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動することの大切さを理解し、体育学習だけでなく日常生活を通して、進んで運動に取り組む子どもを育てる。 <p style="text-align: right;">（体力・運動能力向上のための取り組みの推進）</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内調査の「毎日、すすんで体を動かしたり、スポーツをしたりしている」の肯定的回答率を 85%以上にする。 <p>※「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることがすき。」（R6:84%）</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
改 善 点

大阪市立木川南小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年 度 目 標	達成 状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>○授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の70%以上にする。（ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く）(R6:89.1%)</p> <p>○第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を80%以上にする。(R6:77.8%)</p> <p>基準1：1か月の時間外勤務時間が45時間を超えないようにすること ：1年間の時間外勤務時間が360時間を超えないようにすること</p> <p>・令和7年度の小学校学力経年調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、70%以上にする。(R6:73.9%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成 状況
<p>取組内容⑨【基本的な方向6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】</p> <p>・学習におけるICT機器の活用を行い、個に応じた授業推進を図る。 (ICTを活用した教育の推進)</p> <p>指標</p> <p>・一人一台学習者用端末等をほぼ毎日活用する。</p>	
<p>取組内容⑩【基本的な方向6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】</p> <p>・児童の心の状態や日々の状況をICT機器の活用により可視化し、いじめや不登校などの課題の未然防止・早期発見に迅速な対応を図る。 (データ等の根拠に基づく施策の推進)</p> <p>指標</p> <p>・心の天気など、一人一台学習者用端末のツールを活用しながら、児童の状況を丁寧に確認する。</p>	
<p>取組内容⑪【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>・ICT機器によるペーパーレス化を図ることで業務の精選を進め、より一層教材研究に要する時間を確保するとともに研修の充実を図る。 (働き方改革の推進、教員の資質向上・人材の確保)</p> <p>指標</p> <p>・学校再編プロジェクト会議を年に2回以上開き、学校全体の校務や行事等の改革・改善を進め、スクールサポートスタッフの活用を充実させ、心身ともに働きやすい職場環境を構築する。</p>	
<p>取組内容⑫【基本的な方向8 生涯学習の支援】</p> <p>・学校司書や読書ボランティアと連携し、学校図書館の活用を工夫し、読書活動の活性化を図る。 (学校図書館の活性化)</p> <p>指標</p> <p>・学校図書館貸出冊数（児童一人あたりの年間貸出冊数）を45冊以上にする。 (R6:42.6冊)</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
改 善 点